

平成30年度事業報告

第1 はじめに

県内のシルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）の運営を取巻く環境は、国の補助金においては事業仕分け前の水準となったものの、国の事業仕分けに併せて自治体の補助金も削減された中で、全体としては事業仕分け前の金額と比較して厳しさが継続しており、またその枠組みも大きく変更された状況となっている。

一方、受注環境については、全体として公共及び民間部門ともに受注量が伸び悩んでいる状況にあって、形態別では請負での受注が減少する中で、労働者派遣事業においては事業の拡大が継続する結果となった。

こうした中、公益社団法人広島県シルバー人材センター連合会（以下「連合会」という。）は、本格的な少子高齢社会にあって、高齢者がその有する経験と能力に応じて地域社会で活躍する場としてのシルバー事業の活性化を目指して「広島県シルバー人材センター連合第4次事業推進計画」（以下、「中期計画」という。）を踏まえた、平成30年度事業計画に基づき、国及び自治体並びに関係機関の理解と支援の下、県内のシルバー人材センター並びに高齢者能力活用協会（以下「活動拠点」という。）と一体となって積極的な事業運営に取り組んできた。

事業の実施にあたっては、①会員の拡大、②受注・就業機会の拡大、③安全・適正就業の確保を重点に効果的・効率的な事業展開に努めるとともに、国からの委託事業について積極的に実施した。

このうち、会員の拡大については、シルバー事業を推進する中であらゆる機会を通じて周知・啓発に努めるなど入会促進と相まって退会者抑制の取組を強化した結果、目標数には届かなかったものの10年ぶりの増加となった。

受注・就業機会の拡大については、会員のニーズや就業形態の多様化に応じた新たな分野の仕事の開拓・開発に取組み、請負形態での受注・就業が伸び悩んでいる中で、労働者派遣事業に係る受注については大幅な増加となった。

安全・適正就業の確保については、安全意識の徹底と事故防止対策に取り組んだが、重篤事故が1件（前年度0件）、傷害事故の発生件数は92件（前年度93件）となった。今後も事故防止に向けた効果的な取組みが重要である。

また、就業にあたっては、「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」の趣旨に沿った就業に努めた。

個別の事業実施状況は、次のとおりである。

第2 事業実施状況

【 シルバー人材センター事業 】

高齢者の臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業及びこれを支援するための技能開発、並びにその他の社会参加活動を県内全域で一体的に推進するため、次の事業を実施した。

1 受託調整事業

高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与するため、就業場所が県内の複数地域にわたる仕事について、関係活動拠点と調整の上、民間事業所及び官公庁から有償で仕事を引受け、これを活動拠点と共同で高齢者に提供した。

- ・シルバー派遣事業に係る就業開拓（8事業所）

2 職業紹介事業及び労働者派遣事業

(1) 職業紹介事業

職業紹介事業の適正な運営に図るため、相談・指導を行うとともに、「職業紹介責任者講習会」に联合会及び活動拠点の職員が受講した。

また、改正高年齢者雇用安定法第39条に基づくシルバー人材センターの業務の就業時間の拡大（以下「業務拡大」という。）について、意向を調査した。

ア 個別相談の実施

適正就業の確保に係る職業紹介事業について、年間を通じた相談・指導を実施した。

イ 職業紹介責任者講習の受講

平成30年10月12日	場所：福岡県	7名参加
平成30年12月11日	場所：大阪府	5名参加
平成31年1月22日	場所：東京都	1名参加

ウ 事業実績

求人数	(人)	2人
求職者数	(人)	1人
就職延数	(人日)	0人日
求人者手数料	(円)	0円

(2) 労働者派遣事業

労働者派遣事業委の適正な業務運営を実施するとともに、派遣元責任者及び派遣事業従事者に対して、「派遣元責任者講習会」に联合会及び活動拠点の職員が受講した。

また、「業務拡大」について、意向を調査した。

ア 個別相談の実施

適正就業の確保に係るシルバー派遣事業について、年間を通じた相談・指導を実施した。

イ 派遣元責任者講習の受講

平成 30 年 9 月 28 日 場所：大阪府 10 名参加
平成 30 年 11 月 2 日 場所：福岡県 10 名参加
平成 31 年 2 月 6 日 場所：東京都 1 名参加

ウ シルバー派遣事業運営委員会の開催

平成 30 年 11 月 29 日 第 2 回シルバー派遣事業運営委員会
平成 30 年 12 月 26 日 第 3 回シルバー派遣事業運営委員会
平成 30 年 10 月 19 日 山口県連合へ業務視察

エ 派遣労働者のキャリアアップに資する訓練の計画的な実施

・キャリアアップ研修会の開催

内容 「CS（顧客満足）&メンタルヘルス」

～心身共に健康でシルバーらしく生き生き仕事に取り組む

講師 Morita キャリアプランニング 森田 ひとみ 氏

(11 月) 5 会場 113 名参加

(12 月) 2 会場 77 名参加

(2 月) 4 会場 60 名参加 計 250 名参加

内容 「高齢者運転講習」

(10 月～1 月) 77 名参加

・「派遣労働登録会員 ハンドブック」の作成・配布 2,500 部

オ 事業実績

派遣労働登録会員数 (人)	2,082 人
受注件数 (件)	931 件
受注金額 (円)	754,332,551 円
就業実人員 (人)	1,482 人
就業延人員 (人日)	141,632 人日

3 普及啓発事業

県内全域を対象に、シルバー人材センターの理念や事業内容を周知し、シルバー事業への理解と参加を求めるため、あらゆる機会をとらえて普及啓発活動を実施した。

ア 広報誌「連合のあゆみ」36号(年1回)の発行

シルバー事業の取組みを掲載し普及啓発に努めた。

(平成 30 年 10 月 800 部配布)

- イ 連合会だより「m o ・ m i ・ j i」（月刊）の発行
月間実績、行事、トピックス等を掲載し、普及啓発に努めた。
（毎月初旬 350 部配布）
- ウ 普及啓発のためのポスター、リーフレット等の作成・配布
普及啓発用ポスター・リーフレットについては、会員募集と一般県民に対するシルバー事業の周知を目的としたものに区分し作成・配布を行った。
- (1) 会員加入促進用ポスター・チラシ等
 - ・「100万人達成計画」横断幕 58 枚
 - ・ポスター「現役続行宣言」1,200 部
 - ・チラシ「はたらく幸せ、毎日イキイキ！！」10,000 部
 - ・会員募集チラシ 20,000 部
 - ・広島県職員退職者会会報への会員募集広告の掲載
 - ・警友会OBへのチラシ 2,800 部
 - (2) シルバー事業周知用リーフレット
 - ・「高齢者の知識と経験を社会に生かそう」20,000 部
 - (3) シルバー派遣事業周知用リーフレット
 - ・「派遣事業のご案内」10,000 部
 - (4) 就業開拓用チラシ 10,000 部
 - (5) ハローワークの協力を得て、会員募集チラシを20,000部配付した。
 - (6) 全シ協が発行する「シルバー人材センター」（月刊）を4部購入し関係機関に配布した。
 - (7) ラジオ放送
 - ・RCCラジオスポットCM放送（4月～3月）
- エ 普及啓発促進月間（10月）及び「シルバーの日」を中心とした啓発活動
「シルバーの日」（10月20日（土））において、地域の実情に応じた美化活動・街頭普及活動等を通じ、地域住民に対してシルバー事業のPRを行った。
- (1) 公共施設等の美化、チラシ配布等の広報活動
 - (2) 活動拠点への活動支援用品として、「普及啓発タオル」4,000枚を配布
 - (3) 「シルバーの日」の実施計画を県政記者クラブへ情報提供（10月2日）
 - (4) 「会員募集案内」の新聞掲載（朝日新聞・広島県版 10月1日）
- オ 地域の関連イベント等への積極的な参加
海田町シルバー人材センター設立30周年記念式典（平成30年12月1日）に会長、事務局長が出席した。
- カ ホームページを活用した周知・広報
技能講習・セミナー日程や各種のイベント情報など、ホームページによる一般の利用者への情報提供に努めた。
なお、アクセス件数は、開設以来約59,200件に達している。

キ 図書・ビデオ等を活用した啓発

安全就業を含め、シルバー事業の啓発及び運営等の参考となる図書・ビデオを購入・整備し、必要に応じ関係方面に無料貸出しを行った。

- ・平成31年3月末のビデオ設置 99巻
- ・貸出し実績 1巻

4 安全・適正就業対策推進事業

シルバー事業の運営に当たって、その基本となる会員の安全就業の確保について「安全は全てに優先する」ことを念頭に、「安全就業推進基本計画」及び「高齢運転者等に係るガイドライン」に基づき重篤事故の撲滅をはじめ徹底した事故防止対策に組織を挙げて取り組んだ。

また、受注分野の拡大及びこれに伴う就業形態の多様化が進む中で、就業にあたっては、厚生労働省が作成した「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を周知し、これを遵守した就業の適正化を図った。

ア 安全就業対策委員会の開催

会員が健康で安心して働くことができるための対策を講じるため、安全就業対策委員会を開催した。(平成30年6月11日 場所：連合会会議室)

(取組事項)

- ・活動拠点の安全・適正就業対策を支援するため安全等の啓発
- ・安全パトロールの実施計画の策定
- ・6月から9月までを「熱中症対策強化期間」として設定し、安全就業対策に努めた。

イ 安全就業対策委員による安全パトロールの実施

安全・適正就業強化月間のみならず年間を通じて各活動拠点での安全就業対策等の取組み状況の聴取及び作業現場における安全就業確認等の現場パトロールを実施した。

なお、強化月間の7月に計画していた5センターについては、豪雨災害のため、中止とした。

巡回先活動拠点	巡回日
三次市シルバー人材センター	平成30年10月11日
廿日市市シルバー人材センター	平成30年10月11日
世羅町シルバー人材センター	平成30年10月12日
東広島市シルバー人材センター	平成30年10月17日
広島市シルバー人材センター	平成30年10月26日

ウ 「安全・適正就業強化月間」を中心とする取組

連合本部・活動拠点における平成30年度安全・適正就業強化月間の取組みとして、次の研修会を計画したものの7月の豪雨災害のため、開催を2月に延期し、安全・適正就業にかかる取組の徹底を図った。

(1) 安全就業担当職員研修会の開催

(広島会場)

日 時 平成 31 年 2 月 7 日

場 所 広島ガーデンパレス

参加者 61 名

研修内容

- ・ 講演①「高齢者の交通安全について」
広島県交通安全協会
安全事業推進課長 横山 義政 氏
- ・ 講演②「安全保護具の正しい使い方」
株式会社谷沢製作所 広島営業所
主任 澤田 耕司 氏
- ・ 平成 29 年度事故発生状況の分析

(福山会場)

日 時 平成 31 年 2 月 15 日

場 所 広島県民文化センターふくやま

参加者 41 名

研修内容

- ・ 講演① 「高齢者の交通安全について」
福山東交通安全協会
事務局長 高橋 秋次 氏
- ・ 講演①以外は、広島会場と同じ

(2) ヒヤリ・ハット体験事例集の作成・配布 1,000 部

エ 「高齢運転者等に係るガイドライン」を遵守した事故の根絶

- ・ 高齢者運転講習 (10 月～1 月) 77 名参加 再掲

オ 「シルバー人材センターの適正就業ガイドライン」を遵守した就業の確保
就業形態が多様化する中で、就業実態に応じた請負・委任又は労働者派遣
による契約の明確化により会員の適正就業を確保するため、活動拠点に対す
る個別指導・援助を実施した。

- ・ 適正就業担当者会議の開催

日 時 平成 31 年 2 月 5 日

開催場所 B I G F R O N T ひろしま

参加者 43 名

- ・ 講演①「適正な請負・委任について」
広島労働局 需給調整事業課
課長補佐 市山 徹 氏
- ・ 講演②「労働基準法のポイント」
広島中央労働基準監督署

副署長 岩本 康生 氏

・「適正な受託のためのフローチャート」の作成・配布 500部

5 就業開拓・開発推進事業

事業の受注については、自治体等による歳出削減のための指定管理者制度や入札制度の導入で厳しい状況が続くが、民間部門においては雇用環境が逼迫し人材不足となっており、受注環境は緩やかに改善していくものと思われる。

一方、シルバー事業の担い手（会員）の団塊世代への移行が進む中で、その豊かな知識・技能の発揮が可能となるよう、就業を中心とした活動機会の確保が重要な課題であり、次の事業に積極的に取り組んだ。

ア ホワイトカラー関係職種及び広域展開企業に係る就業機会の拡大
・シルバー派遣事業に係る就業先開拓（8事業所）再掲

イ 福祉・家事援助サービス事業の推進に係る支援

(1) 福祉・家事援助サービス事業推進員会議

(第1回)

日 時 平成30年6月20日

内 容 平成30年度福祉・家事援助サービス事業計画について

(第2回)

日 時 平成30年12月27日

内 容 平成30年度福祉・家事援助サービス研修会の内容について

(2) 推進員活動拠点訪問・意見交換会

平成30年10月26日 北広島町SC

(3) 福祉・家事援助サービス研修会

日 時 平成31年3月1日

場 所 TKPガーデンシティ広島駅前

参加者 30名

研修内容

- ・講演① 「広島県の保育施策を取り巻く環境」
広島県 健康福祉局 安心保育推進課 保育グループ
主査 上杉 嘉之 氏
- ・講演② 「認知症サポーター養成講座」
サンキ・ウェルヴィ株式会社
センター長 木田 裕子 氏
- ・報 告 「全シ協 福祉・家事援助サービス担当者会議の報告」
広島県シルバー人材センター連合会
推進員 竹崎 昭彦

ウ 地域就業機会創出・拡大事業の実施に係る活動拠点に対する指導・援助
平成30年度地域就業機会創出・拡大事業について、4事業実施した。

【地域就業機会創出・拡大事業の実施件数（件）】

開始年度	拠点数	事業数
平成 28 年度	3	4
平成 29 年度	0	0
平成 30 年度	0	0
累 計		4

エ 独自事業の開発及び取組みに係る支援

独自事業に係る事例の収集(16 拠点 66 事業)及び地域ニーズ対応事業(平成 30 年度末終了事業 3 事業)に係る補助期間終了後の事業継続の指導を実施した。

オ 「シルバーしごとネット」を活用した就業開拓の推進

平成 30 年度の間い合わせ件数は、38 件で、そのうち受注件数は 12 件、受注金額は 260,000 円であった。

カ 地方自治法に定める随意契約特例条項の適用等についての要請活動

県知事、県議会議長及び県議会警察商工労働委員会委員長に対しシルバー事業への理解と支援の拡大について、連合会役員による要請を行った。

・要請年月日 平成 30 年 9 月 19 日

・要 請 先 広島県知事、広島県議会議長
広島県警察商工労働委員会委員長

・対 応 者 会長、副会長、常務理事、理事、事務局

6 研修事業

事業の活性化と適正な運営を確保するため、連合会及び活動拠点の役職員及び担当者を対象とする研修会を開催するとともに、関係機関主催の研修会等へ参加した。

ア 役職員研修会

日 時 平成 30 年 6 月 18 日

場 所 広島ガーデンパレス

参 加 者 54 名

講 演 「消費税の軽減税率制度について」

広島国税局 課税第二部 消費税課

軽減税率制度係 係長 東 裕二 氏

イ テーマ別・業務別役職員等研修会

(1) 実務担当者(経理)研修会

日 時 平成 31 年 1 月 23 日

場 所 広島ガーデンパレス

参 加 者 34 名

研修内容

講演 「改正消費税の概要と会計処理について」

赤羽公認会計士事務所

公認会計士 赤羽 隆太郎 氏

説明①「制度改正に伴うシステム対応について」

NR I 社会情報システム株式会社

上級システムエンジニア 古川 慶子 氏

説明②「平成 30 年度立入検査における主な指摘事項について」

広島県 総務局 総務課 参事 本 博之 氏

(2) マネジメント研修

日 時 平成 31 年 2 月 8 日

場 所 広島グランドインテリジェントホテル

参加者 15 名

研修内容 「マネジメント・スキルアップセミナー」

公益財団法人 産業雇用安定センター

上級コンサルタント 杉江 伸一朗 氏

ウ 全国シルバー人材センター事業協会主催の研修会等への参加

研修及び業務会議名称	実施日	参加者数
会員拡大・就業開拓担当者会議	4 月 11 日	2 名
適正就業担当者会議	7 月 17 日	2 名
第 1 回新任事務局長研修	8 月 30 日・31 日	1 名
第 2 回新任事務局長研修	9 月 13 日・14 日	6 名
第 1 回新任理事長（会長）研修	10 月 25 日・26 日	2 名
第 2 回新任理事長（会長）研修	11 月 12 日・13 日	1 名
安全就業指導員会議	11 月 1 日	2 名
新総合事業担当者会議	11 月 7 日	3 名
福祉・家事援助サービス担当者会議	12 月 17 日	4 名
ブロック別シルバー派遣事業実務担当者会議	1 月 25 日	26 名
中堅職員研修	2 月 21 日・22 日	2 名

エ 中国ブロックシルバー人材センター連合協議会主催の研修会への参加

(1) 実務担当職員研修会

日 時 平成 30 年 9 月 26 日・27 日

場 所 くにびきメッセ

県内参加者 連合会 1 名、活動拠点 29 名

講 義 「第 2 次 100 万人達成計画と会員拡大に向けた取組事例」

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

業務部長 福島 孝 氏

グループワーク 「会員による勧誘・広報活動の現状と課題」

講 義 「P D C A管理を踏まえた計画立案について」
 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
 業務部長 福島 孝 氏
 グループワーク 「第4四半期における会員による勧誘・広報活動」

(2) 役職員研修会

日 時 平成30年11月20日・21日
 場 所 くにびきメッセ
 県内参加者 連合会2名、活動拠点84名
 基調講演 「国の高齢者雇用対策とシルバー事業の位置づけ」
 厚生労働省職業安定局雇用開発部高齢者雇用対策課
 課長補佐 松岡 宗寛 氏

講 義 「第2次100万人達成計画が目指すもの」
 公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会
 専務理事 村木 太郎 氏

パネルディスカッション

- ・会員による勧誘・広報活動の現状と課題
- ・第4四半期における会員による勧誘・広報活動の展開

7 活動拠点の運営等に関する指導・援助活動

ア 個別指導の実施

指導対象活動拠点	訪問日
安芸太田町シルバー人材センター	平成30年10月25日
神石高原町シルバー人材センター	平成30年10月29日
北広島町シルバー人材センター	平成30年11月30日
世羅町シルバー人材センター	平成30年12月4日
東広島市シルバー人材センター	平成30年12月10日
府中町シルバー人材センター	平成31年1月11日
福山市シルバー人材センター	平成31年1月22日

【全国シルバー人材センター事業協会が行う指導】

集合指導 平成30年12月20日

個別指導 平成30年12月21日

イ 要請に基づく相談・援助

活動拠点を訪問し、運営等に関する意見交換を実施した。

- ・広島市シルバー人材センター地域世話人会議で講演 平成30年9月28日

ウ 理事長会議・研修会の開催

日 時 平成30年12月12日

場 所 広島ガーデンパレス

内 容

- ・講 演 「会員拡大について」

NR I 社会情報システム

マーケティング担当課長 兼永 敏博 氏

- ・「平成 30 年度都道府県シルバー連合会長会議」の伝達ほか

エ 事務局長会議の開催

会 議	開催年月日	内 容	場 所
第 1 回	平成 30 年 7 月 6 日	広島労働局からの指示・説明 広島県からの指示・説明 「都道府県シルバー連合事務局長 会議」の伝達ほか	広島ガーデ ンパレス
第 2 回	平成 30 年 10 月 30 日	「都道府県シルバー連合事務局長 会議」の伝達ほか	広島ガーデ ンパレス
第 3 回	平成 31 年 2 月 19 日	「都道府県シルバー連合事務局長 会議」の伝達ほか	広島ガーデ ンパレス

オ 情報交換会の開催

委託事業説明会に併せて開催（平成 30 年 4 月 25 日）

8 雇用・就業確保のための技能講習等の実施

高齢者の技能開発を中心とした雇用就業支援を行うことにより、高齢者の雇用・就業機会の確保を図るとともに、地域社会における労働力需要に応えるため、次のとおり事業を実施した。

ア 業種別事業主団体等に対する高齢者雇用の啓発及び就業ニーズ等の調査・分析

- (1) 事業主団体等を訪問し、高齢者雇用の有効性、重要性等について理解を求め、就職面接会への参加を勧奨するとともに、求人情報の収集を行った。
- (2) 県内ハローワークへの求人提出企業 500 社を対象に「高齢者の雇用・就業に関するアンケート調査」を実施した。
- (3) 就職面接会参加依頼（ハローワーク求人提出企業）983社

イ 求人・求職者に対する事業の周知・広報及び雇用就業情報の提供・相談の実施

- (1) ポスター、リーフレット及び冊子の配布
- (2) 新聞、経済誌、テレビ、HP等での広報

ウ 技能講習受講希望者への支援

- ・就職ガイダンスの実施 26 件

エ シルバー派遣就業希望者への支援

人手不足分野や現役世代を支える分野において、シルバー人材センターが高齢者にそれらの分野で就業する機会を円滑に提供できるようにするため、次のとおり就業に必要な能力を習得させる技能講習を県内各地で実施した。

区分	講習名	回数	募集人員	受講開始者数	修了者数
1	マンション管理員	2	35	19	18
2	生活支援・介護(補助)	4	55	47	45
3	販売スタッフ養成	7	115	47	47
4	介護補助・送迎	10	130	65	60
5	生産工程スタッフ	1	10	13	13
6	オリーブ栽培	1	13	13	13
7	公共施設清掃	1	10	7	7
合計		26	368	211	203

オ スキルアップ・就職促進事業による技能講習の実施

高齢者(55歳以上)を対象として、未経験分野等で働く能力を習得させ、職業経験等に関わらず多様な職業を選択できるようにするため、次のとおり県内各地で技能講習を実施した。

区分	講習名	回数	募集人員	受講開始者数	修了者数
1	マンション管理員	5	70	69	67
2	接客・パソコン	3	40	31	30
3	緑化メンテナンス	1	15	16	15
4	柑橘栽培	1	12	7	7
5	保育・学童補助	3	30	19	17
6	保育士フォローアップ	1	8	4	4
7	生活援助員	1	10	8	7
8	フォークリフト	5	70	52	51
9	介護職員初任者	2	24	14	14
10	クリーンスタッフ	1	10	8	8
11	調理補助	2	25	27	27
12	調理補助・接遇	1	10	5	5
合計		26	324	260	252

カ 管理選考の開催

講習修了者の就職を支援するため、各講習終了後、関係事業主団体、関係事業所(108社)、広島労働局及び関係活動拠点との協力の下、管理選考(就職面接会)を開催するとともに、各受講修了者(252名)との面談による職業相談等を実施した。

キ フォローアップの実施

講習修了者のうち、管理選考等で就職に至らなかった者について、定期的に求人情報を提供するとともに、ハローワークへの誘導を行うなど、就職に向けてのフォローアップ（275件）を実施した。

ク 委託事業説明会

- | | |
|----------------------|-------------|
| (1) 委託事業説明会の開催 | 平成30年 4月25日 |
| (2) 第1回スキルアップ事業検討委員会 | 平成30年 4月27日 |
| (3) 第2回スキルアップ事業検討委員会 | 平成30年10月30日 |

9 調査研究事業

ア 県内で事業活動を行う事業所、団体等を対象とした需要調査

地域の企業等における高年齢者の人材ニーズにかかる「高年齢者の雇用・就業に関するアンケート調査」の実施（500事業所）及び「結果報告書」を作成・配布した。

イ 事業実施状況の把握・分析及び事業概要等の統計調査

活動拠点の事業実績を調査分析した「シルバー人材センター事業統計年報」（12月）及び「事業概要」（9月）を作成・配布（各250部）した。

10 センター設置促進事業

未設置地域を解消し、県内全ての地域において、シルバー事業への参加が可能となるよう、広島労働局及び広島県と連携し国庫補助団体（センター）への移行を含めた支援に努めた。

【法人事業】

1 総会及び会議の開催

〔定款に基づく会議〕

会議の名称	開催年月日	内 容 (決議事項のみ抜粋)
第1回 定時理事会	平成30年6月1日	平成29年度事業報告及び決算について 公益社団法人広島県シルバー人材センター連合会 事務局長の交替について 定款の一部変更(議事録)について 定款の一部変更(公告の方法)について 平成30年度定時総会の開催について 公益社団法人広島県シルバー人材センター連合会 就業規則及び非常勤職員の就業等に関する取扱規 程の改正について 公益社団法人広島県シルバー人材センター連合会 シルバー派遣事業衛生管理規程の制定について 会長に対する権限委任について
定時総会	平成30年6月18日	平成29年度事業報告及び決算について 定款の一部変更(議事録)について 定款の一部変更(公告の方法)について 役員を選任について 会長に対する権限委任について
臨時理事会	平成30年6月18日	会長、副会長及び常務理事の選任について
第2回 定時理事会	平成30年9月19日	平成30年度収支予算の補正について 公益社団法人広島県シルバー人材センター連合 会シルバー派遣事業に係る未収金回収及び回収 不能債権処理取扱規程の制定について(議決保留) 会長に対する権限委任について
第2回 臨時理事会	平成30年12月12日	公益社団法人広島県シルバー人材センター連合 会シルバー派遣事業に係る未収金回収及び回収 不能債権処理取扱規程の制定について 会長に対する権限委任について
第3回 定時理事会	平成31年3月19日	平成30年度収支予算の第2次補正について 2019年度事業計画について 平成31年度収支予算について 特定費用準備資金からの借入について 就業規則及び非常勤職員の就業等に関する取扱 規程の一部改正について 派遣労働会員就業規則の一部改正について 会長に対する権限委任について

2 事業運営等に係る進捗管理

会議等	開催年月日	内 容
事業推進会議	平成 30 年 11 月 9 日	目標達成に向けた取組み状況について ・活動拠点の取組状況 ・会員 100 万人達成計画 ・高齢者活用・現役世代雇用サポート事業 委託事業について

事業報告の附属明細書

平成30年度事業報告においては、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条に定める「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものではありません。